

進捗状況の概要（1ページ以内）

本年度は学際的インテンシブカリキュラムの導入に向けた新カリキュラム改革に関する協議を重ね、令和6年度からの導入を決定した。また、昨年度の実行内容ならびに国内外の情報収集をふまえて、特にループリックの改定、分析システムの構築、ソーシャルイノベーション・ラボの活動に注力した。

1. 実施体制の整備と全学波及

昨年度に設置したインテンシブ教育プログラム運営委員会と同マネジメント委員会を中心とした実施体制の下、本年度は特に新カリキュラム導入の決定およびループリックの改定・運用方法の策定により当事業推進のために必要な体制を整備した。これに加えて、昨年度に整備した学生メンターの自立的運営体制の確立に努めた他、アクティブラーニングスペースにおける正課外でのワークショップ・セミナーの実施体制を構築した。

また、全学部・研究科の自己点検評価担当教員等で構成される大学点検・評価委員会において、本事業概要ならびに学際ループリックを紹介し、全学波及に努めた。

2. カリキュラム整備

カリキュラム改革の協議を重ね、体系的学習のための科目精選ならびにクォーター科目と Semester 科目との組み合わせによる高い学修効果をねらった新カリキュラム導入を決定した。令和6年度より新カリキュラムを導入する。これに伴い令和5年度からの大幅なカリキュラム整備は実行しなかったが、アカデミックカテゴリー「社会デザイン」においてインテンシブ教育の観点をふまえた学びのステップを明示するなど、令和6年度からの改革に向けた下準備を着実に実行した。

3. 学修成果の可視化・分析システムの構築

昨年度に試行導入した学際教育ループリックの改定を重ね、本学部のディプロマ・ポリシーに基づいた「知識と志」「学際性」「臨床性」「国際性」ループリックを作成し、令和5年度からの本運用に向けて運用案を策定した。

学修成果・効果検証システムについて、システム設計の委託開発ならびにシステム運用テストが完了した。本事業の評価においては当システムを用いた上で、本事業専属研究員による統計的手法を用いた評価も実施することとした。また、Myポートフォリオ（学生生活を記録し、振り返り、公開するためのシステム）上で学生によるループリック自己評価の実施および可視化ができるよう改修を行い、実装が完了した。これにより本事業における学びのエコシステムの形成に寄与することが期待される。

4. 周辺概念の収集・整理

令和3年度の実行成果をふまえ、海外大学の事例調査を進め学際性やアセスメント、PBL等の周辺概念の収集・整理に努めた。それらの情報は新カリキュラム検討へ反映した他、試行していた学際ループリックの改定ならびに新ループリックを用いた運用の制定につなげることができた。さらに、ソーシャルイノベーション・ラボでの各種ワークショップの実施へと結実するなど、収集・整理に留まらず具体的な実行成果を生み出すことができた。